

各位

2026年5月13日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務CSR部：風間、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和8年3月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 118.0%、学生団体は同 103.1%、団体旅行合計では同 110.7%となった。企画旅行については前年比 108.0%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 105.7%と前年度を上回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 130.6%、学生団体は同 99.4%、団体旅行合計では同 111.7%となった。企画旅行については前年比 100.4%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 112.0%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比 94.6%と前年度を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の3月の総取扱額は、前年比 100.5%と前年度を上回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、招待旅行や職場旅行の取扱いなどが増加し、一般団体は 118.0%と前年度を上回った。

学生団体はクラブの遠征やスキー研修などの取扱いが増加し、学生団体旅行合計で 103.1%と前年度を上回った。

国内企画旅行については、前年比 108.0%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、一部テーマパーク商品や京都方面の販売は堅調も、東京大阪の都市部の宿泊旅行が伸び悩み、前年比 94.8%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、東北方面の販売が伸び悩みも、地域の需要喚起施策のあった北陸方面および九州方面の販売が好調に推移し、前年比 111.8%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 105.7%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、スポーツイベントの取扱いに加え、報奨旅行の取扱いもあり、前年比 130.6%となった。学生団体は研修旅行の取扱いが伸び悩み、前年比 99.4%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比 111.7%となった。

海外企画旅行については、前年比 100.4%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、アジアのテーマパーク商品が春休みを中心に好調に推移し、前年比 122.2%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、中東情勢等の外部環境の影響も見られたものの、クルーズの販売が好調に推移し、前年比 100.0%と前年並みを確保した。以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 112.0%となった。

3. 訪日旅行

国際関係をめぐる外部環境の影響もあり、訪日個人旅行者向けオンラインサイトでの予約が伸び悩み、訪日旅行全体では前年比 94.6%となった。

以上